



平成二十三年度
新春の集い

恒例の新春の集いを二月二十四日エアポートホテルアネックスにおいて開催した。寒さが厳しいこの時期、正会員、賛助会員八十一名が出席。遠方から旭川、札幌、北広島、恵庭から五名の会員が出席し旧交をあたためていた。



また今回、昨年五月入会の松倉美加会員の司会は会発足以来初の女性司会とあって会場の雰囲気は盛り

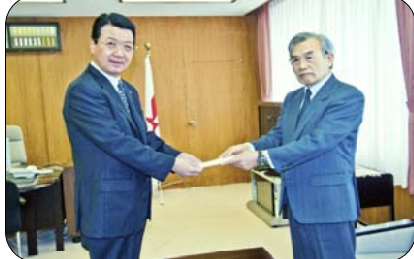


り上がり出席者は大きな拍手をおくっていた。

(第6号)
発行
千鷲会

二十三年度千歳市奨学基金
に五万円

地域貢献として平成二十一年度から実施している奨学基金に五万円を寄付した。三月二十六日朝倉会長と熊原事業部長と渥美広報理事が市役所を訪れ山口市長に寄付金五万円を手渡した。



基地操縦者等
冬季水上保命訓練

毎年厳寒の千歳川で実施されている水上保命訓練を激励するため、二月二十日午前、朝倉会長以下

一〇名が参加した。当日は薄日のさす風の冷たい日で参加隊員の真剣な訓練を見学し、会長から金古基地司令に激励の品を手渡した。



激励品を渡す会長



厳寒の中での訓練風景

花見のシーズン
写真をきれいに撮影する方法

デジタルのコンパクトカメラは一眼レフとは異なり、シャッターの遅れが大きく、また顔からカメラを離して背面のモニターを見るため、カメラの支持点が3点とから2点となり、加えて両肘が体から離れやすいため、慎重に撮影し、先ず、両肘を体に密着させ、両膝を少し緩めて立ち、カメラを脱力した左手の平に載



せ、右人差し指の指紋中央をシャッタースイッチの上に置き、呼吸は静かに吐きながら構えつつ右小指を締め、極めて静かな状態、息を吐きながらシャッターを押し、その後、気持を維持しつつ撮影の余韻(残心)を楽しみましよう。(広報 渥美理事)

二空団創設期の想い出

二空団OB 影山 廣

派遣勤務が一月過ぎた頃、いよいよ奈良の英語教育課程に入校できる日を指折り数えていたところ「君たちは二空団所属として米空軍の職場で仕事を覚えるため、司令部防衛部に配置する。」ということでした。言葉も通じない米兵の職場でこれからの何を習い、何を覚えるのかを考えたとき弱冠十八歳の自分たちにはあまりにも大きな衝撃をうけたのを想い出します。翌日、運用幹部と名乗る方が「さあ、お前たち行くぞ!」と言われて連れていかれた所はエプロンの北側(以前空輸ターミナルのあった裏側)

の小山で入り口は頑丈な鉄の扉があり、その前に銃を持った憲兵隊員が立っていました。駐留していた米空軍部隊も徐々に撤退が開始され、その後を航空自衛隊が引き継ぐことになりました。我々の入校は急遽取り消

された。米軍の仕事は現場で教わることになり防衛部やベースオペレーション等へ配置され見習い(OJT)が始まったのです。な気がした。

防衛部に配置された我々三人は、米軍の戦闘指揮所(COC)に駐在。おいて米軍一名と我々二名が1クルーとなり、3クルー2シフトによる二十四時間の勤務体制でスクランブル指令や局地飛行訓練の飛行管理業務を習得することになった。明け

賛助会員紹介

ベルクラシックリアン

支配人兼総料理長

福島 力



千鷲会の皆様には宴会・婚礼を通してベルクラシックリアンを日頃からご利用賜り厚くお礼申し上げます。リアンでは来て頂いたお客様との絆を何よりも大切に、心のこもったプロデュースを実践しております。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スナック「宵華」

大塚 悠希子



この度、千代田町一丁目(いろはにはほへ

との北側)に移転し、くつろぎの空間「Cafe」[宵華]をランドオーブンいたしました。昼はカフェ夜はカラオケスナックの顔でお迎えしております。今までの新しいスタイルのお店であならしいひとときを過ごしてみませんか!

基地広報館リニューアル 説明会



千歳基地広報館が三月五日、新しく模様替えを公開した。広報室長のリニューアル説明会に朝倉会長ほか一〇名の会員が参加した。一部会員による写真や航空機模型が展示されているが、基地側は更なる充実と発展のため会員からの写真等の借用を希望している。

精神集中度

「精神集中度」と云うものがあって0から100まで目盛があるとするれば、通常人の平均値は四十五ぐらいと考えられる。もし、精神集中度が三〇以下になると、病原菌やウイルスが増加し、潜在していた病気が顕在化する、気が滅入る、不安な

気持ちになる等。(米フロリダ大学・シドニー・ジュラー心理学) この度私は、その精神集中度を少なくとも五〇には維持するため、来る五月二十日若狭の小浜市から京都市内までの「鯖街道」を単独で歩く計画をしております。途中山中の「久多」で一泊、翌日京都市内終点の「出町柳・デマチヤナギ」に向

かいます。目下、二万五〇〇〇分の一の山岳地図を買い、山道ルートを検索中。太古の昔からこの鯖街道は、若狭・小浜の海で採れたサバを一塩して一昼夜かけて京の都まで運んだ山道です。「京は遠うても十八里」と詠われており、七十二キロメートルを歩くことになりました。数年前、奈良市内



(吉岡敏博)

東日本大震災から早一年以上が経ちましたが、被災地では今なお大震災の大きな爪痕がうず高く積まれた瓦礫の中で追悼式典がしめやかに挙行されると共に全国各地でも追悼集会が催され、新聞やテレビなどマスメディアでも追悼関連報道が毎日のように行われていました。それらの報道を見て改めて多くの犠牲者のご冥福と被災地の早期復興を祈ると共に、大地震の恐ろしさや厳しい現実を再認識したところでもあります。私も震災直後、岩手と宮城にある被災した支社へ不足している生活物資などを届けるために社用車でフェリーと高速道路を乗り継いで三日間走り回ったことを思い出しました。



大震災への備え 千鷲会参与 森田 弘

地域の防災計画に着手し、中央防災会議でも、専門調査会を設置して調査報告を取りまとめたとのことです。政府の地震調査委員会の「海溝型地震の長期評価の概要」では、今後三十年以内に起こる海溝型地震の発生率は、南海地震(M8.4前後)が六〇%程度、東南海地震(M8.1前後)が七〇%程度、南関東のM7程度

の地震が七〇%程度となつていきます。我々の住む北海道も他人事ではなく、常に地震と隣り合わせにあると言えるでしょう。防災対策の再構築には、まだまだ長い年月がかかるかも知れませんが、東日本大震災から二年となる来年三月十一日には、国・地域はもとより、私個人と

です。最後に、五月十八日で千鷲会発足三十周年を迎える記念すべきときに、第六号となる千鷲会だよりへ投稿させていただきますと共に改めて感謝いたしますと共に、千鷲会と本誌の益々の発展を祈念申し上げます。

千鷲会の会員数 (五月一日現在)

正会員 674名
賛助会員 15社
個人 14名

各紹介

新入会員
會田 照彦 (施設隊)
木村 幸夫 (同)
野作 祐市 (修理隊)
二階堂 秀明 (東千通)
高群 直人 (特輸隊)
物故会員
竹内 紀幸 (札幌)
西村 昭成 (向陽台)
田中 一朗 (北斗)
岡本 勲 (同)
三宅 景一 (恵み野)

事務局から お知らせ

部隊研修について
第一回部隊研修を七月五日実施します。細部は同封の案内で確認してください。

投稿記事の募集

会員皆様方の活動状況を掲載いたします。ボランティア、趣味、体験談、随筆、評などジャンルは問いません。自薦、他薦大歓迎です。投稿先及び問合せ先
鳩 (42) 0295
国井 (28) 4302
芦田 (26) 4053